

[シラバス年度] 2019年度		[対象学生] 人間学部人間心理(3年次)	
[授業科目名] プロジェクト演習 B (N63940311)			
[時間割名] プロジェクト演習 B (2219)			
[時間割担当] 富川拓			
[実施期] 後期		[単位数] 1	
[曜日・時限] 集中			

□■ 授業の概要

プロジェクト演習 B では原則として、ゼミで一つのチームを組み、ゼミ担当教員の指導のもとでプロジェクトを策定し、取り組んでいく。
このプロジェクト演習 B では、SDGs の目標にもなっている「男女共同参画」や「若者の地域定着」をテーマに、地域の課題解決を目指す。

□■ 授業のねらい

DP1◎ DP5◎ DP3○ DP6○

本授業の主たるねらいは、地域や自分以外の誰かのためになるよう主体的に動く姿勢を涵養することである。実際に誰かの役に立てているという実感が得られるとき、この姿勢は確固としたものに育っていく。また、意味のある活動をしていくには、多くの場合裏付けが必要である。これまで本学で学んできた様々な知識や技能を総合し、自分たちの活動を意味あるものにするよう活用していくことも副次的なねらいである。

□■ 授業の到達目標

- ・地域や他者のために貢献しようとする姿勢を身につける
- ・問題発見や解決のためにこれまでの学びを活用できるようになる
- ・さまざまな人と協働できるようになる

□■ 授業スケジュール

回	授業計画	学習のポイント
第1回	プロジェクトの準備①	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第2回	プロジェクトの準備②	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第3回	プロジェクトの準備③	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第4回	プロジェクトの準備④	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第5回	プロジェクトの準備⑤	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第6回	実践活動①	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノート作成(1時間)
第7回	実践活動②	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノート作成(1時間)
第8回	実践活動③	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノート作成(1時間)
第9回	実践活動④	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノート作成(1時間)
第10回	実践活動⑤	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノート作成(1時間)
第11回	実践活動⑥	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノート作成(1時間)
第12回	実践活動⑦	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノート作成(1時間)
第13回	実践活動⑧	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノート作成(1時間)
第14回	振り返り①	個人、グループで振り返りを行う ※活動振り返りノート作成(1時間)
第15回	振り返り②	引き続き、個人、グループで振り返りを行う ※活動振り返りノート作成(1時間)

□■ 履修要件

プロジェクトに対する主体的で能動的な参加意欲

□■ 成績評価の方法・基準

種別	割合	評価基準
平常点	100%	プロジェクトに対する参加姿勢、授業中に課す各種課題
	%	
	%	

□■ 教科書・テキスト

授業中に適宜指示する。

□■ 参考書

授業中に適宜指示する。

□■ 授業外学習の指示（準備学習等に必要な時間含む）

活動状況に応じて適宜指示する。科目の性質上、プロジェクトの遂行に関わる重要な指示であることが多くなる。指示に対し不十分な準備しかして来なかった場合、以降の活動参加を許可しない場合もある。

□■ オフィスアワー

時間：原則、木曜4限

場所：研究室

□■ 担当教員からのメッセージ

活動だけではなく、事前・事後学習もしっかり頑張りましょう。

□■ 担当教員の連絡先

学内メール：tomika-t@seisen.ac.jp

[シラバス年度] 2019年度		[対象学生] 人間学部人間心理(4年次)	
[授業科目名] プロジェクト演習D (N639405)			
[時間割名] プロジェクト演習D (2220)			
[時間割担当] 富川拓			
[実施期] 後期		[単位数] 1	
[曜日・時限] 集中			

□■ 授業の概要

プロジェクト演習Dでは原則として、ゼミで一つのチームを組み、ゼミ担当教員の指導のもとでプロジェクトを策定し、取り組んでいく。
このプロジェクト演習Dでは、SDGsの目標にもなっている「男女共同参画」や「若者の地域定着」をテーマに、地域の課題解決を目指す。

□■ 授業のねらい

DP1◎ DP5◎ DP3○ DP6○

本授業の主たるねらいは、地域や自分以外の誰かのためになるよう主体的に動く姿勢を涵養することである。実際に誰かの役に立てているという実感が得られるとき、この姿勢は確固としたものに育っていく。また、意味のある活動をしていくには、多くの場合裏付けが必要である。これまで本学で学んできた様々な知識や技能を総合し、自分たちの活動を意味あるものにするよう活用していくことも副次的なねらいである。

□■ 授業の到達目標

- ・地域や他者のために貢献しようとする姿勢を身につける
- ・問題発見や解決のためにこれまでの学びを活用できるようになる
- ・さまざまな人と協働できるようになる

□■ 授業スケジュール

回	授業計画	学習のポイント
第1回	プロジェクトの準備①	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第2回	プロジェクトの準備②	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第3回	プロジェクトの準備③	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第4回	プロジェクトの準備④	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第5回	プロジェクトの準備⑤	プロジェクトの準備 ※プロジェクトに関する調べ学習(1時間)
第6回	実践活動①	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第7回	実践活動②	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第8回	実践活動③	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第9回	実践活動④	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第10回	実践活動⑤	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第11回	実践活動⑥	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第12回	実践活動⑦	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第13回	実践活動⑧	実践活動。実際に現場に出て活動する ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第14回	振り返り①	個人、グループで振り返りを行う ※活動振り返りノートの作成(1時間)
第15回	振り返り②	引き続き、個人、グループで振り返りを行う ※活動振り返りノートの作成(1時間)

□■ 履修要件

プロジェクトに対する主体的で能動的な参加意欲

□■ 成績評価の方法・基準

種別	割合	評価基準
平常点	100%	プロジェクトに対する参加姿勢、授業中に課す各種課題
	%	
	%	

□■ 教科書・テキスト

授業中に適宜指示する。

□■ 参考書

授業中に適宜指示する。

□■ 授業外学習の指示（準備学習等に必要な時間含む）

活動状況に応じて適宜指示する。科目の性質上、プロジェクトの遂行に関わる重要な指示であることが多くなる。指示に対し不十分な準備しかして来なかった場合、以降の活動参加を許可しない場合もある。

□■ オフィスアワー

時間：原則、木曜 4 限

場所：研究室

□■ 担当教員からのメッセージ

活動だけではなく、事前・事後学習もしっかり頑張りましょう

□■ 担当教員の連絡先

学内メール：tomika-t@seisen.ac.jp

2019 年度米原未来プロジェクト（富川ゼミ）実施計画

日時・場所	場所	内容
10月2日(水) 15:40～17:10	米原庁舎／げんきステーション	①オリエンテーション、米原の魅力・課題を検討(グループワーク)。 【事前課題】大学生は米原について調べてくる(特徴、魅力と課題) 【宿題】 ・伊吹高校、米原高校について調べる ・高校生に聞きたいことを考えてくる
10月16日(水) 15:40～17:10	米原庁舎2B会議室／食堂	②インタビュー調査、グループワークの仕方について学ぶ。出前授業の準備(質問項目・グループワークの進め方などを検討) 【宿題】 インタビューガイドの作成(質問項目などを記載)
11月6日(水) 14:25-15:55	伊吹高校 対象：1年生全員	③出前授業 高校生にインタビュー調査(グループワーク)その1 テーマ：米原市について(イメージ、魅力と課題) 14:25-15:15(6限LHR)インタビュー調査(グループワーク) 対象：1年生全員(4クラス) 15:15-15:55 振り返りと次回の準備 【宿題】 インタビューガイドの加筆修正
11月20日(水) 14:25～15:55	伊吹高校 対象：1年4組	④出前授業 高校生にインタビュー調査(グループワーク)その2 テーマ：米原市をより良くするためにはどうすればよいか。 14:25-15:15(6限LHR)インタビュー調査(グループワーク) 対象：1年4組 15:15-15:55 振り返りと次回の準備 【宿題】 高校生の意見をまとめる
12月4日(水) 15:40～17:10	米原庁舎／げんきステーション	⑤高校生の意見を参考に公約を検討、出前授業の準備
12月11日(水) 8:55～9:45 9:55～11:45	伊吹高校 対象：1年生全員	⑥出前授業 模擬投票を通して米原市を知り、市の未来を提案
14:00～15:00	米原庁舎／げんきステーション	⑦振り返り

2019 年度米原未来プロジェクト（富川ゼミ） 報告書

【概要】

聖泉大生（富川ゼミ）と米原市職員（採用一年目）がチームを組み、米原市の魅力と課題を分析した。その後、伊吹高校の生徒とともに地域振興・課題解決に向けた政策、特に「若者の地域定着」に繋がる政策を検討した。

検討した政策案を伊吹高校での模擬選挙体験で「公約」として提案し、より多くの高校生が地域を知り、地域と自身の未来を考えるきっかけとした。

【参加者】

聖泉大学	富川ゼミ	9 人
米原市職員	（採用一年目）	13 人
伊吹高校	1 年生	149 人

【成果】

高校生とのグループワークや政策立案、模擬選挙体験の企画運営を通して、「コミュニケーション能力」「チームで働く能力」「問題解決能力」を涵養するとともに、地域に対する理解を深めることができた。

【活動の様子（高校での模擬選挙体験）】



左上 事業の説明

右上 模擬投票会場

左下 候補者の公約を比較し、投票者を検討中